

サステナビリティへの取組み

(2025年6月更新)

マテリアリティ	課題解決／価値創造	取組み目標	2024年度取組み実績	影響範囲			SDGsとの関わり
				E	S	G	
持続可能なエネルギーの提供	クリーンエネルギーの創出とCO ₂ 排出量の削減	・太陽光発電所の販売・運営を通じて、CO ₂ 排出量の削減を推進 ・自社SSの屋根に太陽光発電設備を設置し、エネルギーを創出 ・再生可能エネルギーの活用を検討し、エネルギー効率化を追求	発電所販売実績 2 件 (1.2MW) / 当社発電所運営 4 ヲ所 (11.8MW) / 自家消費型太陽光発電システムの導入取り進め (対象： 9 SS)	○			 
	バイオマス発電燃料の開発、供給	・バイオマス発電燃料の供給を通じて、カーボンニュートラルに貢献	バーム椰子殻 (PKS) を 13.3 万トン販売/バイオマス燃料ペレット製造設備の稼働開始 (2025年5月)	○			 
地球環境への責任	カーボンニュートラルの実現に貢献	・ガソリンペーパー液化回収装置の導入を促進し、大気汚染防止に貢献 ・環境配慮型商品の提供により、CO2排出量の削減に貢献 ・シェアリングサービスの提供によりCO2排出量の削減に貢献 ・カーボンマネジメントコンサルティング支援の提供によりCO2排出量の削減に貢献	E N E O S 環境配慮型商品納入 (427.1KL) / CO ₂ 排出量削減に繋がる商品 (省エネ商品) 納入 (98.9KL)	○	○		
	災害に対するレジリエンスの向上	・社内訓練・教育等の事前対策による、減災への取り組みを実施 ・BCPの策定・運用による企業体制の強化	地震災害訓練 (全社訓練/初動訓練・安否確認訓練を含む) 実施 (2024年9月) / 災害対策本部立上げ訓練 (初動訓練・安否確認訓練を含む) 実施 (2025年3月) / 災害備品の全社入れ替えの実施	○	○		 
コミュニティとの繋がり深化	SSネットワークを活用した新たなサービスの創出と提供	・地域コミュニティへの参画によるステークホルダーとの関係構築 ・エネルギーとサービスの連携で、よりよいサービスを消費者へ提供 ・パートナー企業へのサポートを強化し、ステークホルダーを支援	E V 充電器設置 (2 件) / レンタカー事業の拡大 (19 台増車)	○	○		
	配送効率化などによる働き方の改善	・タンク残量監視システム等の提供を通じ、働き方の改善に貢献	顧客実証試験件数 (1 件)	○	○		
	バイオマス発電燃料の持続可能な調達	・バイオマス発電燃料を適正な価格と品質で安定供給する体制の構築 ・原料調達における人権・労働・安全・衛生・環境等への配慮	バイオマス燃料ペレット製造設備の稼働開始 (2025年5月)	○	○		 
	サービスに対する正しい理解の推進	・ステークホルダーに向けた啓蒙活動の実施 ・社内外への広報活動による理解の促進	四半期ごと社内向け決算概要説明資料作成・展開	○	○		
	持続可能な保有物件の価値向上	・シェアリングサービスの提供等、住民コミュニケーションの活性化 ・建築資材への配慮や災害対応型物件づくりの推進による物件価値向上	堺市シェアサイクル事業の拡大 (自転車200台増車、計550台) / 泉大津市シェアサイクル事業の拡大 (124 ラック・自転車30 台) / 高石市シェアサイクル活用の実証実験開始 (2025年4月) / 自社保有賃貸マンションでシェアリングサービス稼働 (都内 5 棟) / 住民コミュニケーションの場としてマンションの屋上ドッグラン稼働 (神奈川県内 1 棟)	○	○		 
信頼されるガバナンス・職場環境	グループガバナンスの推進	・コーポレートガバナンスの強化 ・コンプライアンスの徹底 ・リスクマネジメントの強化	2024年度外国公務員贈賄防止プログラム作成 / 国内外対象社員向けに利益相反研修を実施/ハラスメント防止宣言の発布 (2024年4月)、ハラスメント防止ポスターの掲示と更新 (四半期毎) / コンプライアンス委員会開催 (2 回)、コンプライアンス研修の実施 (11 回：内、個人情報保護研修 3 回) / コンプライアンスメールマガジンの配信 (12 回) / コンプライアンス・サーベイの実施 (2025年2月) / リスクマネジメント対応計画の更新 (2025年 3 月)	○	○		
	職場環境の向上(働き方改革の推進)	・働き方改革 (ワークライフバランス、テレワーク等) の推進 ・女性が活躍できる環境 (福利厚生、制度等) の充実 ・ITの積極的活用による業務効率化の推進	副業制度の運用開始 (2024 年 4 月から) / ビジネスシーンにおける生成AI活用事例紹介や全社のITスキル向上に向けた研修実施 (2024年11月) / 各種システムのバージョンアップ (2024年4月他)、システム利便性向上と既存システム入替可能性の検討/オンプレミスの仮想サーバ (12台) 更改に設計、基盤構築完了 (2025年3月)	○	○		   
	多様性の確保と人材育成	・多様な人材 (女性、外国人、中途採用者) の幹部登用の推進 ・多様性への理解を深めるための教育の実施 ・階層別教育の充実等による人的資本への投資の強化	女性管理職育成に関する検討開始/スキル向上を目的とした集合研修やe-learning等の実施 (2,824時間/実績) / 海外現法社員向け日本研修実施 (2024年10月) / 2025年新卒入社前研修内でサステナビリティ研修を実施 (2025年3月)	○	○		   